

新年の幸を願って 隅田川七福神めぐり



あずまです。明けましておめでとうございます。今日は、家族で「隅田川七福神」を巡ってきました。ここは堀切駅が最寄りの「多聞寺」(毘沙門天)。茅葺の山門というのは珍しいですね。創建にまつわる妖怪狸を供養した「狸塚」というものもありましたよ。(MAPの④)

今回の登場人物



業平武司
業平家の長男であずまの弟。サッカーと剣道と愛する高校生。



業平あずま
業平家の長女。母親が経営する英会話教室と手伝う。趣味は旅行。



業平道子
あずまの母親。小学生向けの英会話教室を経営する。趣味は園芸。



業平鉄男
あずまの父親。食品会社に勤める。歴史とジャズをよく愛するサラリーマン。



東武スカイツリーライン「堀切駅」。北千住駅から約4分。明治35年4月1日に開設。駅と周辺は、ドラマ「3年B組金八先生」のロケ地としても有名です。東口から出ると、すぐに荒川河川敷が。七福神の「多聞寺」へは西口から。

堀切くとうきょうスカイツリー

七福とは本来、人の本質で最も尊い宝——寿命、裕福、人望、清廉、愛敬、威光、大量のこと。年の始めに七福神に参拝する習わしは、江戸時代後期から盛んになりました。東武沿線にも数多くの七福神めぐりがありますが、とりわけ有名なのが隅田川七福神めぐり。貴重な伝統的風俗慣習として墨田区の無形民俗文化財に登録されています。行程は約4キロ。2時間あれば正月の下町情緒を楽しみながら歩いて参詣できます。

(ほりきり〜とうきょうスカイツリー)



素敵な神楽殿のある「白鬚神社」(寿老神)です。道案内の守り神、猿田彦命が御祭神ということもあり、お客様を案内して千客万来、商売繁盛の御利益があると云。普通は寿老人ですが、ここでは「寿老神」です。(MAPの㉔)



墨堤通り沿いにある「セイコミュージアム」へ。企画展「セイコの腕時計100年」が開催中でした。世界初のGPSソーラーウォッチには、父も武司も目が釘付け。ほかにも江戸時代の朱口時計など歴史的な時計も必見!(MAPの㉕)



百花園の近くでお寿司を食べたあと、1km近く歩いて「言問団子」のお店でひと休み。都鳥が描かれた団子皿、それに乗った色違いの3つの団子。ずっと変わらない風情、味にホッとさせられます。(MAPの㉖)

ここは「向島百花園」です。寺社ではありませんが、福祿寿尊が祀られています。お正月の1日〜3日は休園ですが、七福神巡りエリアは無料で入園でき、園内の「茶亭せはら」で、甘酒や抹茶をいただきました。(MAPの㉗)



たそうです。

向島百花園は社寺ではありませんが、じつは隅田川七福神の中心地。江戸後期に同園に集っていた文人墨客たちが園主愛蔵の福祿寿像に目をつけ、これに周辺の社寺と合わせて七福神を揃えたのが始まりなのです。というわけで、ここに祀られているのは、その七福神発祥の基となった福祿寿像。そこから墨堤通りに出ると程なく「白鬚神社」に着きます。近江の白鬚大明神の分霊を祀った神社ですが、七福神の選定で寿老人を祀る社寺が見当たらないので、白鬚神社に着目。「白鬚」の名から「白い鬚の老人の神様」だろうということ、ここではとくに「寿老神」と表記するようになったそうです。

まずは墨田の住宅街の中に佇む多聞寺へ。本尊は弘法大師作と伝わる毘沙門天。茅葺きの山門は約300年の時を刻む墨田区内最古の建物です。七福神めぐりの中で多聞寺だけがぼつんと離れているので、二次の向島百花園まで歩くのはちょっとという方は鐘ヶ淵から東向島まで電車に乗るのも手。東向島駅から東武博物館前に展示中の日光軌道電車を目印に右折すれば、ものの10分足らずで向島百花園に着きます。

隅田川七福神の社寺では元巨から松の内の7日まで本尊が開帳され、それぞれの神様の御分体(像)や宝舟、御朱印などが頒布されます。参詣の順路は、とうきょうスカイツリー駅近くの三囲神社から墨堤を北上する方法もありますが、今回は堀切駅近くの多聞寺から南下しながら東京スカイツリーをめざして歩くことにします。

向島百花園は隅田川七福神発祥の地



長命寺のすぐそばにある「弘福寺」(布袋尊)という禅宗のお寺。「咳の爺婆尊」という二基の石像もあり、これに詣でると風邪除けの御利益があるそうですよ。隅田川の堤に行くと、桜橋の優美な姿が目を楽ませてくれました。(MAPの④)



ここは長命寺(弁財天)です。本堂の前には「雪見の句碑」とも呼ばれる、石に彫られた松尾芭蕉の句碑がありました。近くには老舗「長命寺の桜もち」があり、言問田子と同じく元日から営業していますよ。(MAPの⑤)



七福神巡りのあと「すみだ郷土文化資料館」に寄ってみました。「忠臣蔵」に関する特集展示を行っていましたよ。ここから最寄りの「とうきょうスカイツリー駅」までは、徒歩約7分。「東京ソラマチ」に寄ってはいかがでしょうか。(MAPの①)



珍しい三角石鳥居がある「三井神社」です。元々は越後屋(現三越)に祀られていたもの。三井氏が江戸に進出した際、この神社を守護神と崇めたそうです。境内には池袋三越の店頭にあったライオン像が置かれています。(MAPの⑧)

七福神を参拝した後は 東京スカイツリー® か浅草か

向島界隈には、1万点以上の時計を収蔵するセイコーミュージアムや木造建築資料館など、墨田区が推奨する「小さな博物館」や「すみだ工房シヨップ」が点在しています。時間にゆとりがあれば寄り道するも楽し。

墨堤通りを南下していくと、長命寺と弘福寺が仲良く並んでいます。

長命寺に祀られているのは七福神の紅一点・弁財天。琵琶湖の弁財天の分身です。江戸時代、ここは雪景色の名所として名高く、境内に立つ芭蕉雪見の句碑がその美しさを偲ばせています。

勝海舟が若いころ修行をしたという弘福寺に祀られているのは布袋尊。境内の「咳の爺婆尊」は口や喉の病に御利益ありとされています。

桜橋の東詰から見番通りを辿っていくと、大國神と恵比寿神の2神を祀る三井神社があります。境内には包丁塚や多くの句碑があり、松尾芭蕉の高弟・宝井其角の雨乞いの句碑が有名です。

さて、多聞寺からスタートした隅田川七福神めぐりは、ここ三井神社でゴール。ここから東京スカイツリーに向かうもよし、言問橋を渡って浅草の街に繰り出すもよし。どちらにも歩いて行ける距離です。

おっとその前に、墨田区の歴史と文化を学ぶ「すみだ郷土文化資料館」へ。ここでは明治末期の墨堤の賑わいを再現したジオラマを展示。3月2日まで特別展示「忠臣蔵」も開催中。また、1月3日〜5日は「七福神の解説パネル展」など、新春イベントが行われています。

隅田川七福神データファイル

〈コース〉・堀切駅西口 ⇄ 徒歩10分 ⇄ 多聞寺(毘沙門天) ⇄ 約1.5km ⇄ 白鬚神社(寿老神) ⇄ 約200m ⇄ 向島百花園(福祿寿尊) ⇄ 約1km ⇄ 長命寺(弁財天) ⇄ 約50m ⇄ 弘福寺(布袋尊) ⇄ 約300m ⇄ 三田神社(大國神、恵比寿神) ⇄ 徒歩12分 ⇄ とうきょうスカイツリー駅

〈ご開帳期間〉・元日～七草(1/7)。各寺社で神様のご分体をお請けし、宝舟に乗せて集めながらお参りされる方は、三田神社が多聞寺で宝舟をお請けください。

〈ご集印の受付〉・ご開帳の期間、ご集印帳や色紙に各寺社の御神号・御朱印を揮毫していただくことができます。各寺社の受付に申し込んでください(ご開帳期間の9:00～16:00頃まで)。*ご開帳期間以降はスタンプをご利用ください。スタンプ用の専用色紙は、多聞寺・三田神社でお求めください。

〈向島百花園〉・●交通=東向島駅徒歩8分 ●開園時間=9:00～17:00(入園は16:30まで) ●休園日=年末年始(12/29～1/3)*1/1～1/3は隅田川七福神のエリアへ入園できます(無料)。●入園料=一般及び中学生150円/65歳以上70円 *園内の茶亭さらはら1/1～1/3も営業。1/5～1/7は「七草がゆ」がメニューに加わります。 ☎向島百花園 03-3611-8705 / 茶亭さらはら 03-3619-4997

〈セイコーミュージアム〉・●交通=東向島駅徒歩8分 ●開館時間=10:00～16:00(入場受付は15:00まで) ●休館日=月曜、祝日、年末年始(今年は1/5から開館) *月曜が祝日の場合、翌火曜も休館。1/23(木)は午後臨時休館。5月3、4、5日は開館 ●入館料=無料 *ご来館にあたっては、ご予約ください。 ☎03-3610-6248

〈すみだ郷土文化資料館〉・●交通=とうきょうスカイツリー駅徒歩7分 ●開館時間=9:00～17:00(入館は16:30まで) ●休館日=月曜(祝日の場合は開館、翌日休館)、毎月第4火曜(祝日の場合は開館、翌日休館)、12/29～1/2 ●観覧料=100円(中学生以下無料) *特別展示「忠臣蔵」は3/2(日)まで。 ☎03-5619-7034

〈言問団子〉・●交通=とうきょうスカイツリー駅徒歩12分 ●営業時間=9:00～18:00 ●定休日=火曜 *1/1～1/7は無休。1/8(水)は休業 ☎03-3622-0081

*記載事項は変更になる場合がございます。



「向島百花園」から宮中に献上されているのと同じ七草の籠が飾られています。
 [せり、なすな、ごぎょう、はこばら、ほとけみぎ、すずな(かぶ)、すずしろ(大根)]